

城下町

富岡

天草郡苓北町富岡は江戸時代を通じて、天草における行政の中心地であった。寺沢広高が築いた富岡城は天然の要塞として知られ、キリシタン一揆勢の猛攻にも堪えぬいたといわれるが、歴史の変遷で現在では三の丸のみが残され、九丈の臨海実験所がひそかに建っている。富岡を訪れる人は、城下町の長い歴史の重みを、風化したような町家の雨戸や戸板に偲ぶのである。

